



# Sequoia Preservation Project

## 2017 ジャイアントセコイアの森保護活動

地球が残してくれた巨木の森、今 私たちの手で守っていききたい

2012年より始まった日本の林業技術と北米アーボリスト技術のデュオプロジェクト。過去には地球の広い範囲で生息していた巨木たちも地球温暖化で北米の一部にしか残っていない。そのジャイアントセコイアの森の再生のためにジョンギヤスライト率いるアーボリストトレーニング研究所日本チームが米国のジャイアントセコイアの保護プロジェクトに挑む

### 【セコイアプリザベーションプロジェクト 2017 概要】

目的：2015年秋、世界5番目の巨樹ジャイアントセコイア「スタッグ」の周辺の間伐作業と樹上生態研究を行い、その事によってアメリカのアーボリスト達にもこのプロジェクトが引き継がれ「スタッグ」はようやく樹勢を取り戻し息を吹き返してきた。今年「スタッグ」の間伐前と間伐後の調査と、他のジャイアントセコイア生息エリアの間伐作業に入り、同様に人工的に山火事が起きた後の状態を整備しジャイアントセコイアを守る。

主催：ATI アーボリストトレーニング研究所

プロジェクトリーダー：ジョンギヤスライト (ATI 所長 中部大学教授)

協賛：中部大学 JAA 日本アーボリスト協会

日程：2017年8月4日(金) 夕方現地集合～8月9日(水) 朝解散 5泊6日

募集人員：9名(全員間伐作業と森林&動植物生態研究を共同で行う予定)

条件：ATI 所長のもと書類審査、面接に合格した方。

結果発表：6月30日までに確定致します。

参加費用：約¥120,000(許可申請料・現地使用機器レンタル代・現地宿泊代を含む)

申込方法：ATI宛メールにて [info@japan-ati.com](mailto:info@japan-ati.com) 名前参加希望と記入しお送りください。追って連絡します。

過去実績：2012年第1期 計画測量 2013年第2期 1部区域テスト成功 2014年第3期 1部区間実施

2015年第4期スタッグ樹勢回復整備と生態調査

場所：アメリカカリフォルニア州 シエラネバダ山脈 サンフランシスコとロスアンゼルスの間 東